

タンク密結形便器

保証書付

TOTO

取扱説明書

- このたびは、TOTOタンク密結形便器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は、大切に保存しておいてください。

もくじ

安全上の注意	2~4
各部のなまえ	5
つかいかた	5
手入れのしかた	6~8
故障したときは	9~15
メモ	16~17
保証書	18~19

安全上の注意

安全のために必ずお守りください。

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお取扱いください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

表 示	意 味
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

注意

- フィルタ掃除をする時は必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行ってください。
(水圧でフィルタが飛び出してくるおそれがあります。)

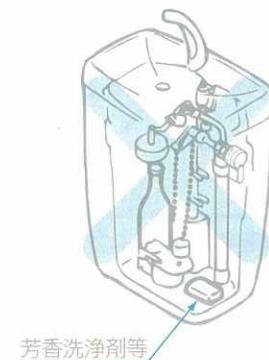


- 便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さないでください。
(便器が詰まり、汚水があふれるおそれがあります。)



注意

- 芳香洗淨剤などのご使用は、おすすめできません。
(内部の部品にあたり、止水不良になるおそれがあります。)
- ビール瓶などは、タンク内に入れないでください。
(水量が減少し、便器詰まりなどになるおそれがあります。)



- 便器が詰まった場合、市販の吸引器(商品名：ラバーカップなど)で詰まりを除去してください。
(そのままの状態の水を流すと汚水があふれるおそれがあります。)



- 便器やタンク及び給水管や止水栓の表面に露が発生した場合、乾いた布で拭き取ってください。
(床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。)



- 便器の鉢や手洗鉢の中に熱湯をそそがないでください。
(便器が破損してケガの原因になることがあります。)



⚠ 注意

○手洗鉢の中には、物を置かないでください。
(手洗鉢から水があふれるおそれがあります。)



○陶器に衝撃を与えないようにしてください。
(陶器が破損し、ケガ、漏水の原因になります。)



○長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。
こうしておけば留守中に万一の故障も起きず安心です。



○給水フレキホースを無理に折り曲げたり、タバコの火やカッターなどで傷をつけないでください。
(給水フレキホースが損傷し、漏水の原因になります。)

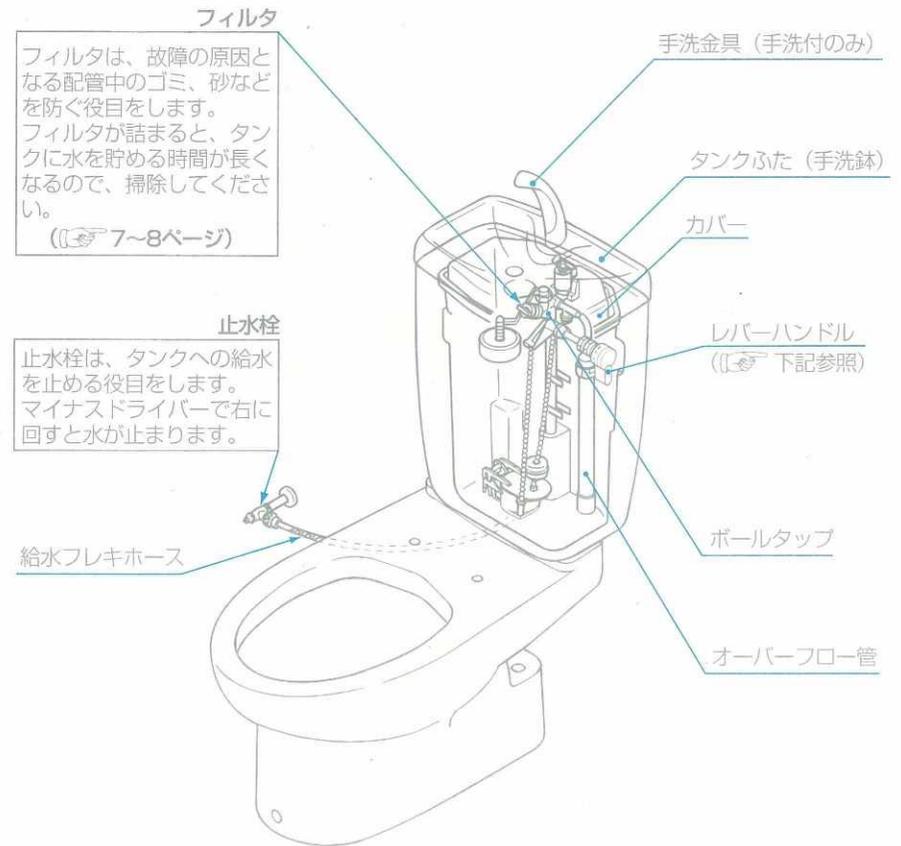


○便器外面に水や洗剤をかけると、床に垂れて床にシミを作ったり腐らせたりするおそれがありますので、絶対にかけないでください。

○また、便器から飛び出した小便も同様のおそれがありますのでよく絞った雑巾で拭きとってください。



各部のなまえ



フィルタは、故障の原因となる配管中のゴミ、砂などを防ぐ役目をします。フィルタが詰まると、タンクに水を貯める時間が長くなるので、掃除してください。
([7~8ページ](#))

止水栓は、タンクへの給水を止める役目をします。マイナスドライバーで右に回すと水が止まります。

つかいかた

汚物を流すときは、レバーハンドルを正しく操作してください。

- 大便の場合……手前に引いてください。〈大〉
- 男子・女子小用の場合……奥に押してください。〈小〉
(従来のように、手でずっと保持しておく必要はありません。)
※大便の場合や、女子小用でトイレットペーパーをたくさん流す場合は必ず〈大〉で流してください。



- 〈小〉で流すと汚物が詰まったり、うまく流れないことがあります。
※タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。
※トイレットペーパーを多量に流すと、便器が詰まり、汚水があふれるおそれがあります。

手入れのしかた

機器はお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。
日頃からこまめにお手入れをしてください。

1. 金具の手入れ



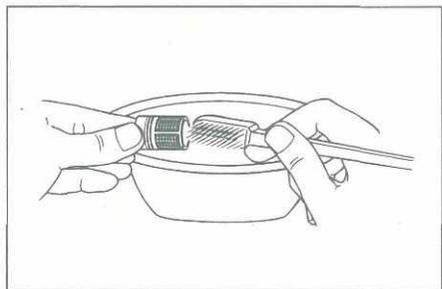
- めっきされた機器は柔らかい布でみがき、ときにはカーワックスなどを含ませた布でみがいてください。
- 酸性洗剤、クレンザー、ナイロンたわしは、器具の表面を傷付けますので使用しないでください。

2. 便器の手入れ



- 外面についた汚れは、よく絞った雑巾で拭きとってください。
- 内面についた汚れは、放置せずに気付かれた時点でお掃除してください。
- セフィオンテクト品の場合でも、防汚性能を十分に発揮させるため、日頃のお手入れが大切です。

3. フィルタの掃除



- フィルタが詰まると、タンクに水を溜める時間が長くなるので、長くなったら7~8ページの要領で掃除してください。

フィルタの掃除手順

1

① 止水栓を閉める
(マイナスドライバーで右に回す)

② タンク内の水を流す

注意

フィルタ掃除をするときは必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行ってください。水圧でフィルタが飛び出てくる可能性があります。



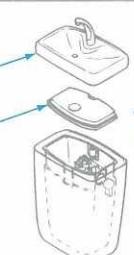
2

タンクふた(手洗鉢)と、カバーを外す。

タンクふた(手洗鉢)

カバー

垂直に持ち上げてください。



3

フィルタを外す(赤色)

① 左回し(約90度)

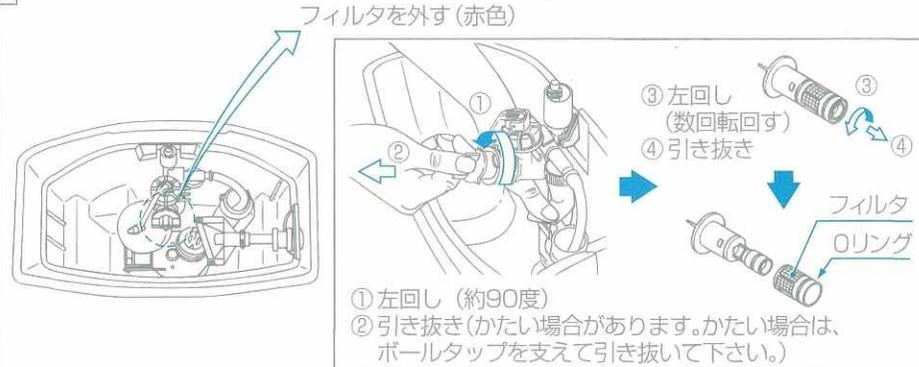
② 引き抜き(かたい場合があります。かたい場合は、ボールタップを支えて引き抜いて下さい。)

③ 左回し(数回転回す)

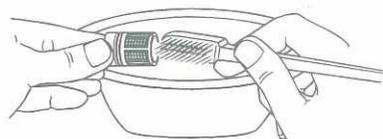
④ 引き抜き

フィルタ

Oリング



4



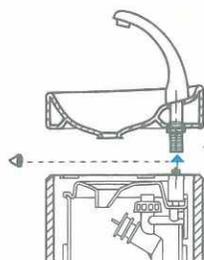
フィルタの内部を掃除する。
 ※外側は、こすらないでください。
 Oリングに傷がつくおそれがあります。

5

掃除後は、前ページ [3] と逆の手順でフィルタを元に戻す。

6

カバーとタンクふた（手洗鉢）を元に戻す。
 ※手洗付の場合は、下図のように行ってください。



合わせる ↓ 垂直に載せる

※タンクふたが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込みが不十分ですので、再度差し込みなおしてください。

7

止水栓を開く。（マイナスドライバーで左に回す）

故障したときは

簡単になおらない故障の場合は、故障の状態をご確認の上、お取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)に修理を依頼してください。

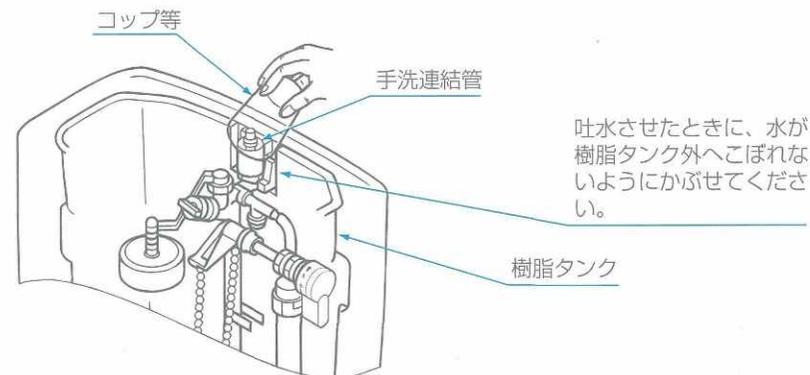
なお、ご不明な点がございましたらお客様相談室にご相談ください。

修理を依頼される前に

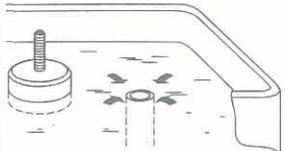
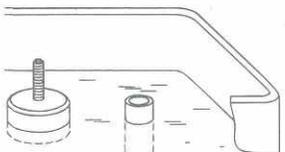
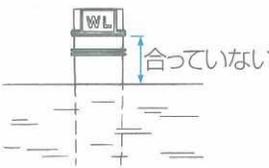
トイレには、水が止まらない、タンクに水が溜まらないなどの故障がときとして起こる場合があります。むずかしい故障は専門の工事店さんに任せるとしても、まず診断して、簡単な故障はご家庭で修理されてはいかがでしょうか。

ご家庭で修理される場合は、下記 [1] ~ [4] の操作後に次ページ以降の表にしたがい修理してください。

- [1] 止水栓を閉める。（マイナスドライバーで右に回す。）
- [2] タンクふたとカバーを外す。
 ([1] [2] は「フィルタの掃除」(7~8ページ)を参照してください。)
- [3] 下図のように手洗連結管にコップなどをかぶせる。
- [4] 止水栓を開けて（マイナスドライバーで左に回す）、タンクに給水させて、その時の状態を確認する。



吐水させたときに、水が樹脂タンク外へこぼれないようにかぶせてください。

	状 態	原因の一例	修理の方法
水がとまらない	① オーバーフロー管から水があるれている。 	(1)止水位調整不良 (2)ボールタップの故障。	(1)の場合14～15ページの要領で止水位を調整してください。 それでもなおらないときおよび(2)の場合には、修理を依頼してください。
	② オーバーフロー管から水はあふれていないのにボールタップより時々吐水する。 	(1)排水弁のパッキンが傷んでいる。	パッキンは消耗品です。傷んだら新しいものと交換してください。パッキンを交換する場合には、12～13ページの要領で行ってください。 ※パッキンの購入はお取付店・販売店またはTOTOパーツセンターにお問い合わせください。 部品番号 大側：93434E 小側：93435E
便器の流れが悪い	③ 止水位がオーバーフロー管の黒線(標準水位)と合っていない。 	(1)止水位調整不良。	14～15ページの要領で止水位を調整してください。

	状 態	原因の一例	修理の方法
水が出ない	④ タンクに水がたまらない。(ボールタップから吐水しない。)	(1)フィルタにゴミが詰まっている。 (2)止水栓が開いていない。	(1)の場合、7～8ページの要領でフィルタの掃除をしてください。 それでもなおらないときには修理を依頼してください。
水が出が悪い	⑤ タンクに水がたまるのが遅い。(目安2分以上)	(1)フィルタにゴミが詰まっている。	(2)の場合は、止水栓を開いてください。
水が漏れる	⑥ 床と便器の間、及びタンクの下に水が漏れている。	(1)止水栓、給水管の結露。 (結露は、梅雨時期などに多く発生するもので、故障ではありません。) (2)上記以外。	(1)の場合、乾いた布で拭きとって、部屋の換気をしてください。 (2)の場合は、修理を依頼してください。

※修理後の注意

- ①止水栓を開いてください。
(マイナスドライバーで左に回す)
- ②浮玉及び排水弁がスムーズに動くか確認してください。

排水弁パッキンの交換手順

1 止水栓を開けてから（マイナスドライバーで右に回す）、タンク内の水を流す。

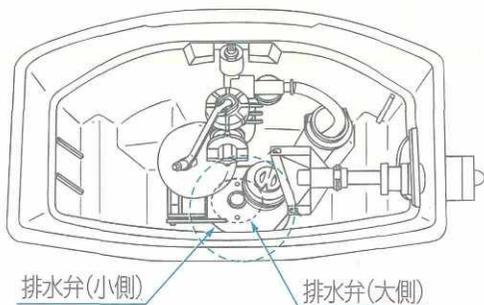


2 タンクふた（手洗鉢）とカバーを外す。

※上記①②は、フィルタの掃除手順（7ページ）を参照してください。



3 排水弁を取り出す。



《小側》

《大側》



4 古いパッキンを外す。



（古いパッキンは、端をつまんでめくるように外します。）



5 新しいパッキンを取付ける。
※パッキン面に、うねりのないことを確認してください。



6 前記③と逆の手順で、排水弁を取付ける。
※玉鎖が交差しないようにしてください。



7 カバーとタンクふたを元に戻す。
※手洗付の場合は、フィルタ掃除の手順の⑥（8ページ）を参照してください。



8 止水栓を開き（マイナスドライバーで左に回す）、タンクに供給させて漏水のないことを確認する。

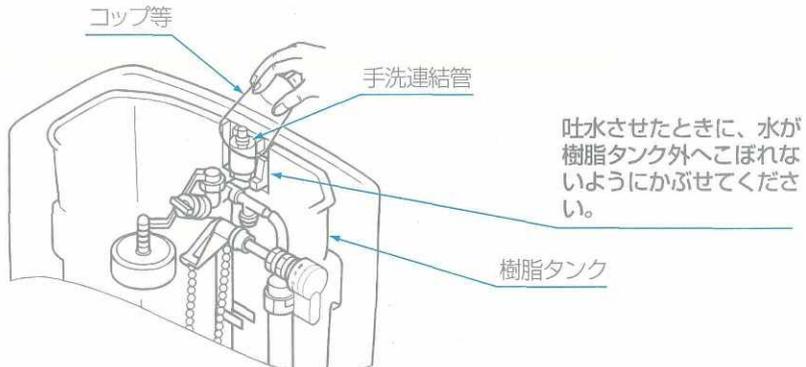
止水位の調整手順

1 止水栓を閉めてから（マイナスドライバーで右に回す）、タンク内の水を流す。

2 タンクふた（手洗鉢）とカバーを外す。

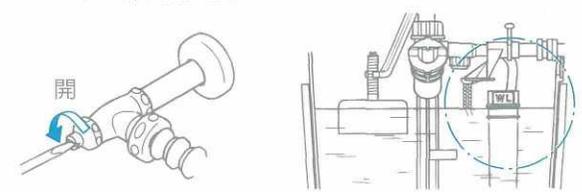
※上記①②は、フィルタの掃除手順（7ページ）を参照してください。

3 手洗付の場合、下図のように手洗連結管にコップなどをかぶせる。

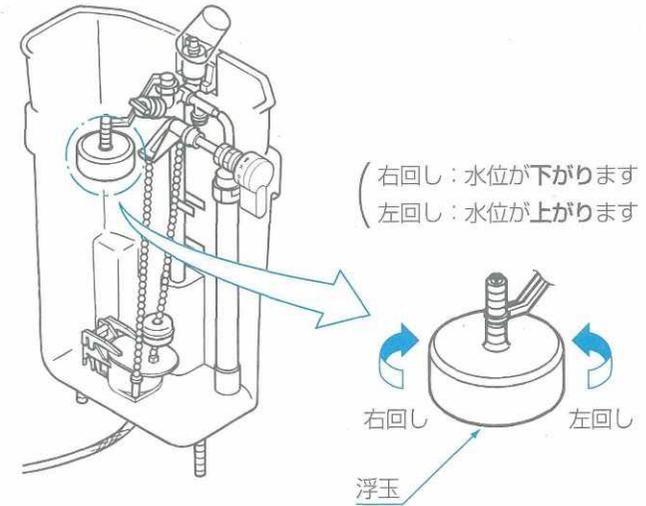


吐水させたときに、水が樹脂タンク外へこぼれないようにかぶせてください。

4 止水栓を開けて、タンクに給水させて、上水位がオーバーフロー管の黒線（標準水位）に合っているか確認する。



5 止水水位がオーバーフロー管の黒線（標準水位）に合っていない場合、下図の要領で調整する。



※1度水を流して、きちんと黒線（標準水位）に合っているか確認してください。

7 カバーとタンクふたを元に戻す。
※手洗付の場合は、フィルタ掃除の手順の⑥（8ページ）を参照してください。

8 止水栓を開く。（マイナスドライバーで左に回す）

MEMO

MEMO

タンク密結形便器保証書

お客様	おなまえ 様		
	おところ ㊦		
お取付店名	㊦ 電話 - ㊨		
	お取付日	年	月 日

保証期間	
陶器部及びセット金具類	お取付日から2ヵ年

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

表記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)(フリーダイヤル☎0120-1010-05)に修理をご依頼ください。機器に関する保証書が別途同梱されますので、あわせて保管願います。

上欄に記入のない場合は無効となりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

東陶機器株式会社

〒802-8601 北九州市小倉北区中島2丁目1番1号 TEL.093(951)2111

無料修理規定

- 取扱説明書、張付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、表記の期間、無料修理いたします。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店・販売店または東陶メンテナンス(株)にご依頼の上、出張修理に際して、本書をご提示ください。
 - ご転居の場合は事前にお取付店または販売店にご相談ください。
 - ご贈答品等で本書に記入してあるお取付店または販売店に修理をご依頼できない場合には、「取扱説明書」に記載の東陶メンテナンス(株)へご相談ください。
 - 保証期間内でも、次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - 施工上の不注意・過失による故障及び損傷。
 - お取付後の移設等に起因する故障及び損傷。
 - 一般用途以外(例えば、家庭用商品の業務用での使用)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 砂やごみかみによる不具合およびパッキン等消耗部品の損傷。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室または東陶メンテナンス(株)にお問合わせください。

サービス記録

年月日	サービス内容	担当者

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間：平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

補修部品のご購入はTOTOパーツセンターへ



0120-8282-55

受付時間：平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理についてのご用命は東陶メンテナンス(株)へ



0120-1010-05

受付時間：関東・甲信越地区 8:00~20:00
上記以外の地区 9:00~20:00

商品に関するご相談や修理については、下記のお取付工事店・販売店へ